

さいたま

Nursing

2019.4.25 NO.119

ありがとう平成



平成

会員数	24,841名
保健師	475名
助産師	914名
看護師	22,695名
准看護師	757名
対前年度比	989名増

(H31.3.23現在)

Contents

- 2019年度事業開始にあたって P2
- ✳ Nursing Nowキャンペーンを知っていますか?・コラム… P3
- ✳ ようこそ新人ナースさん …………… P4~5
- ✳ 講習会・交流会・研修会レポート …… P6~7
- ✳ お知らせ …………… P8



「2019年度事業開始にあたって」

公益社団法人埼玉県看護協会 会長 熊木 孝子



平素より会員の皆様には協会事業の推進に対し、ご理解・ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

2019年度の重点事業は、以下の3点とし、継続して取り組む事業として2点を掲げました。

[重点事業]

1. 地域包括ケアシステムにおける看護提供体制の推進
2. 看護職の確保定着事業の強化
3. 各職能委員会の機能強化と連携

[継続して取り組む事業]

1. 社会のニーズに対応できる看護職の育成・支援
2. 県民への健康づくり支援

以上の事業計画に基づき、新たに活動して参ります。

今年度から、元号が変わり新しい年が誕生します。平成から新元号へと未来に向けてバトンを渡すこととなりますが、事業の内容はほぼ継続していくものとなっております。その理由は、医療が地域完結へと移行し、地域包括ケアシステムを推進していくためには、地域格差もあり多くの時間を要するからです。そして、看護師不足も継続した課題であります。また、昨年の診療報酬・介護報酬のダブル改定を受け一年が経過しましたが、医療機関や介護施設ではその対応についての整備がされてきていることと思います。

私の会長としての任期は平成の終わりとともに終了します。そして、新たな元号とともに新しい会長へとバトンタッチしていきます。この6年間、常に看護協会の使命を念頭に日本看護協会と連携し、社会情勢の変化を先取りした事業に取り組んで参りました。特に直近では、国の施策でもある助産師偏在是正のための出向支援事業や地域ネットワーク事業である組織拡大のための会員増加に向けた取り組みを強化してきました。いずれも新しい事業として担当者とともに行脚し、顔の見える関係づくりは看護管理者の方々から感謝されました。また、新研修センターについては、会員や様々な方から「癒される空間が多い」という声をいただいております。新たな看護の活動拠点として大変好評です。

今年度も会員の皆様のニーズに応えられるよう事業の推進に努力し、看護協会の益々の発展のために、会員の皆様のご理解・協力の程よろしくお願い申し上げます。

Nursing Now キャンペーン を知っていますか？

Nursing Nowは、英国の議員連盟が活動をスタートさせ、WHO（世界保健機関）とICN（国際看護師協会）が賛同して世界的に広がっているキャンペーンです。

ナイチンゲール生誕200年となる2020年に向け、看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、健康課題に積極的に取り組み、人々の健康の向上に貢献するために行動することを支援するためのキャンペーンです。私たち埼玉県看護協会は、この趣旨に賛同し、取り組むことにいたしました。

これから先、看護職が求められる役割はますます拡大していくと思われます。その役割を果たすためには、看護の質向上（教育の拡充）、看護職が働き続けられる環境づくり、地域の人々のニーズに応える看護の展開（看護職の役割拡大）が必要となります。

看護職がもつ可能性を最大限に活用し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、県民の健康な生活の実現に貢献できるよう、一人でも多くの看護職の皆さんに本キャンペーンへのご賛同、ご支援をお願いいたします。

URL <https://www.nursingnow.org/>

Nursing now on twitter @NursingNow2020



コラム

3.11 私たちは忘れない

平成23年3月11日から8年が経過した。私たちは「あの日」を忘れない…というメッセージと共に、4年前から3月11日を「3.11メモリアル」として、毎年災害に関する企画を提供してきた。その内容は、東日本大震災だけではなく、関東・東北豪雨、熊本地震、西日本豪雨、北海道胆振東部地震等の支援活動の報告から、学びを得たものである。また、それに加えて、「復興」という時間の中で未だ進行形である地域の人々の想いに触れ、それを心に刻み伝え育む「一日」としている。東日本大震災を中学生で体験した青年が、「復興」ではなく、「活性化」と僕は言いたいと言っていた。その発言の意味は奥深い。私たちは、その率直な言葉を心に刻み着色せず伝えていくこと、それが私たちの使命のひとつと考える。3.11「あの日」を忘れないための「一日」になるメッセージとなる企画を今後も続けていきたい。

あの日を忘れない仲間たちより



ようこそ 新人ナースさん



2019年度、新しく私たちの仲間となる新人のあなたへ、
先生・先輩からのエールをお届けします！

看護学校 教員より

木々の芽吹きに春を感じるこの頃、様々な場所で看護師としての歩みをはじめられたことでしょう。つらいことや困難に直面することが沢山あるでしょうが、これまで以上に知力と技を磨いて乗り越えてください。手助けを求めるのも大切なことです。周囲の方々の指導や助言を真摯に受け止めて、自己を見つめましょう。省察する力が看護実践には不可欠です。皆さんなら必ずや、それができるはずです。そして、自らの力でより良い未来を実現してください。先輩や上司の皆様、温かいまなざしを添えて手を差し伸べていただければと思います。ひとりで歩くにはもう少し時間が必要です。

これからも、皆さんを応援していると心のすみに置いておいてくださいね。

看護学校 教員より

これまで皆さんは、それぞれの学校で准看護師としての知識と技術、そしていつも患者さんのところに寄り添える看護者としてのところをしっかり学びました。

これからは、かけがえのない命を守るために看護職としての自覚と責任を持ち、患者さんから「あなたに会えて本当によかった」と言ってもらえるようになり、いずれは地域社会に求められる看護師として成長されることを心から願っています。

施設の皆様方には、看護職として何事も初めてになります卒業生を温かく見守っていただけますようどうぞ宜しくお願いいたします。

私たちは、どんな時にも皆さんにエールを送り続けていることを忘れないでください。これからの皆さんの看護者としての人生が心豊かに輝き続けることを心から願っています。

さんへ



※このページは、コピーをして新入職者に配布いただけるように作成しました。
皆さんからのメッセージをお届けください。なお、本会ホームページよりダウンロードすることも可能です。

看護部長 より

私たちには、いのちを救う、育むという大切な使命があります。時には、挫折することも、落ち込むこともあるでしょう。そんな時は周りを見て！あなたの笑顔を待っている患者さんが、あなたを支えたい仲間がいるはず。そしてあなたにも出来る事が沢山あります。そっと寄り添う、見守る、声をかけるなど。さあ、勇気を出して一歩進んでみて！

看護部長 より

ご入社おめでとうございます。ユニフォームを着たその瞬間の気持ちを忘れないで。大きな壁があった時は一人でぶつからないで、必ず相談をしてください。仲間と一緒に乗り越えてください。私たちは、全力で大切な仲間をサポートします。あなたの笑顔は、患者さんにとって一番の安心の良薬です。「はい、笑って」。笑顔がとても素敵です。

師長より

国家試験に合格し、晴れて新人看護師となられ、おめでとうございます。あなたをお迎えすることができ、力が湧いてくる思いです。新社会人として、また新人看護師として迷うこともあるかもしれませんが、職場では、サポート体制を整えてあなたをお待ちしています。看護師として大いに成長し、力を発揮してください！

指導者 より

4月からは、沢山の患者さんとの出会いがあります。多職種の方々とそれぞれの立場で意見を交わし「患者さんにとって一番良い看護」を考えられる看護師を目指してください。人との出会いを通して学び、自分をどんどん成長させていきましょう。

8年目 病棟ナース より

長いようであつという間の学生時代を乗り越え、いよいよ夢の看護師人生のスタートですね。これから様々な場面で悩んでしまう事がたくさんあると思います。でもそんな時は、先輩看護師がいつでもあなたの味方です。自分が思い描いた看護を実践できるよう、一緒に同じ目標に向かって、笑顔あふれる看護を楽しみましょう！

2年目 ナース より

昨年、新人として看護職をスタートし、慣れない環境での生活や、日々業務に追われる中、忙しくつらい時もありました。それでも、先輩方を見ると、忙しい中でもいつも笑顔を絶やさず患者様と接していました。私もそうなりたい、患者様に安心して入院生活を送っていただきたいと頑張っています。つらいことがあるかもしれませんが、一緒に頑張りましょう。

講習会・交流会・研修会レポート

特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会

◆公設宮代福祉医療センター立花 浅利 通代

8日間にわたり、学生を指導するにあたっての必要な技能と心構えを身につけることができました。受講前は学生への指導方法や指導案作成方法などが主な学びとなるだろうと想像していたのですが、実際はグループワークによる意見交換をし、自らの学びを再検証することに多くを割きました。研修を通して学ぶ立場に立つことで、学生がどのように知識を積み、視野を広げ、経験を重ねることで看護の基盤を築いていくのかを改めて体感することができました。



中でも、最大の成果は「看護とは人を支え、人間として成長することができる素晴らしい職業だ」という気づき、さらには「自らの看護観を見つめなおす」という時間を得たことでした。講師陣からの貴重なご教示と、共に学んだかけがえのない仲間たちに心から感謝をしています。

特定分野とは、①保健師養成所における公衆衛生看護学 ②助産師養成所における助産学 ③看護師養成所における老年看護学、小児看護学、母性看護学および在宅看護論 ④准看護師養成所における老年看護および母子看護

ともに生きる地域をつくる 看看連携の先に見えるもの—好事例に学ぶ—

◆自治医科大学附属さいたま医療センター 石川 治美〈看護を考える委員会〉

地域包括ケアの時代を支え、地域で活躍できる人材育成と看看連携強化を目的とした、地域包括ケアシステム交流会を開催しました。病院や訪問看護ステーションの管理者をはじめとした108名の看護職の皆様が参加してくださいました。講演では、埼玉県保健医療部医療整備課の小暮主幹、埼玉県訪問看護ステーション協会の三塩会長、春日部市医師会会長であり、春日部市在宅サービス多職種連絡協議会会長の山崎先生に、それぞれの立場から在宅医療や地域連携、看看連携の実際と課題についてお話しいただきました。その後の地域ごとに分かれたグループワークでは、地域連携における各施設の現状と課題を共有することができ、終了後のアンケートでは、「今後の地域連携に活かすことができますか」の質問に97.2%の方からそう思うとの評価をいただきました。今回の交流会で築くことが出来た顔の見える関係性を活かし、看看連携が強固なものとなり、地域包括ケアの中で提供される看護の質が向上することを期待したいと思います。



虐待から子どもを守る親支援

“母”ではなく“父”ではなくて“親”になる—それを支える看護職活動とは—

◆医療法人桂水会 岡病院 田中 小百合〈3職能4委員会〉

虐待から子どもを守る親支援をテーマに研修会を開催しました。日本子ども虐待防止学会理事の鷺山拓男先生に講演をいただきました。多数の研究論文を提示しながら、虐待予防において“親”を支援する重要性についてお話がありました。母子保健の本来業務は「虐待予防」であり、妊娠中から育児期間にわたって継続的なかわりを持つことが予防の実現を促すということでした。親と接する際には「育児指導」ではなく「育児支援」であるという姿勢を持つことが有用だというお話が特に印象的でした。具体的には、隣り合って座り、子どもではなく親であるその人に焦点をあてて傾聴することに努める—虐待予防というついでに子どもを守ることに注力することが浮かびますが、「育児支援」とは“親”になる過程を支援することだと納得しました。また、先生は、養育能力の低い傷つきやすい親たちが、看護職の訪問にはより多くドアを開けるといふ事象を示し、母子保健の看護職が歴史的に獲得してきた信頼について言及されていました。終了後のアンケートでも、「先輩方が築きあげてきた母子保健の水準の高さを大切にして自信をもって看護職として地域に出ていきたい」という言葉がありました。今後も継続して虐待予防について取り組んでいきたいと、改めて決意した一日になりました。



会員情報の変更について

登録情報に変更がある方は、以下のいずれかの方法で手続きをしてください

①

キャリアース

会員専用マイページ「キャリアース」にアクセスしてご変更ください(スマートフォンからのアクセスもできます)

入会状況の確認、改姓や住所変更、研修受講履歴の閲覧、文献検索などがいつでもどこでも可能です。

②

埼玉県看護協会ホームページ 入会案内より、「看護協会入会関連書類請求書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえFAX・郵送ください。折り返し、書類を指定住所までお送りします。



2019年度 各支部開催「看護デー」イベント日程一覧

支部	開催月日	開催時間	場所
1	5月18日(土)	13:00~15:00	深谷アリオ
2	5月18日(土)	13:00~15:00	ワカバウォーク
3	5月12日(日)	13:00~15:00	ウェスタ川越
4	5月18日(土)	10:00~13:00	Grand Emio 所沢2F
5	5月18日(土)	13:00~15:00	桶川マイン
6	5月18日(土)	10:00~16:00	コクーンシティ 2おもてなしプラザ
7	5月12日(日)	12:00~15:30	そごう川口店10F パンケットルーム
8	5月11日(土)	11:00~14:30	ララガーデン春日部1F リブ口前
9	5月10日(金)	11:00~13:00	新越谷コンコース

2019年度 教育計画 について



□ **日程の決定** 研修番号095 「知っておきたい依存症」

12月18日(水) 10:00 ~ 12:30

□ **日程の変更** 研修番号032 「フィジカルアセスメント」

(×) 6月20日(木)【変更前】 → (○) **6月19日(水)**【変更後】

□ **日程の訂正** 研修番号045 「動くことの困難を支える運動器疾患看護」

(×) 9月9日(火)【訂正前】 → (○) **9月3日(火)**【訂正後】

総会要綱をお届けします

5月の中旬に、2019年度通常総会の総会要綱をお届けします。

◆受付票のご準備をお願いします

通常総会にご出席予定の方は、総会要綱の表紙を開いたところに受付票が挟み込んでありますので、必要事項をご記入いただき、当日お持ちください。

◆委任状をお送りください

通常総会に出席できない方は、総会要綱159ページの委任状に必要事項を記載し、期日(5/31)までに協会宛にご返送ください。

公益社団法人埼玉県看護協会通常総会：2019年6月15日(土) 10:00 開会

場所：埼玉県看護協会研修センター(西大宮)

アンケートへのご協力ありがとうございます



「さいたま」117号よりスタートしたアンケートに多数のご回答をいただきました！自由記述の項目にも、皆さまより多彩なご意見が届いております。今回は、118号アンケートより一部をご紹介します。

Q1：興味をひいた記事はありましたか？

- 第1位** **ナースセンター**
(ナースセンター事業をご紹介/ブランクからの復職)
- 第2位** **ごあいさつ**
(執行部を代表して会長、副会長からの新年のご挨拶)
- 第3位** **組織強化委員会より**
(組織強化委員会の活動目的と内容をご案内)

Q2：看護協会でご覧してほしい研修があったら教えてください

- 同意見多数**
- ・看取りの看護
 - ・在宅看護/在宅看護でのマナー
 - ・外来における終末期患者とのかかわりについて
 - ・外国人入院患者向けの簡単な英会話
 - ・退院支援看護
 - ・アサーティブトレーニング

編集後記

広報委員会

平成最後の広報誌となった今号は、昭和から平成の時代に活躍した“モノ”達への感謝を込めて、表紙を飾ってもらうことにしました。まだまだ現役中です、という現場もあることでしょう。この機会に是非、懐かしい話に花を咲かせてみてはいかがでしょうか。そして新たな時代に向かって邁進していきましょう。

広報誌「さいたま」119号はいかがでしたか？アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントが当たります。奮ってご参加ください。

- ◆応募締切：5/20(月)まで
- ◆抽選で30名様にクオカードをプレゼント

▼アンケート内容

- 1) 興味をひいた記事はありましたか？
- 2) 後輩に勧めたい研修はありますか？(協会の研修以外でも可)
- 3) 埼玉県飯能市にできたテーマパークの名前は？
- 4) 埼玉県で行われるオリンピック競技はどれでしょう？



QUOカード
500円分
プレゼント!!



回答はこちら↑